

2018年四国アイランドリーグ plus 公式戦ルール概要

試合方式

- (1) 原則として4月から6月を前期、8月及び9月を後期として公式戦を開催する。ただし、前期開幕は3月31日、後期開幕は7月28日とする。
- (2) 原則としてアイランドリーグ(IL)各球団は、前期36試合、後期30試合の公式戦を行う。
- (3) IL各球団は各期4試合、年間8試合を福岡ソフトバンクホークス、各期2試合、年間4試合を読売ジャイアンツと定期交流戦を行い、その定期交流戦でのアイランドリーグ選手の個人成績ならびに試合の勝敗は、公式戦の成績に含める(福岡ソフトバンクホークス、読売ジャイアンツの個人成績ならびに試合の勝敗は公式戦の成績に含まれない)。
- (4) 公式戦(定期交流戦を含む)の試合は9回までとし、延長戦、引き分け再試合は行わない。
- (5) 読売巨人軍との定期交流戦に限り、予備日が設けられていない為、雨天等により中止またはノーゲームとなった場合、当該試合の全ての記録を公式戦の個人成績に含めず、試合の勝敗は0対0の引き分けとして扱う。
- (6) 予備日を含み、悪天候等による試合中止で全日程が消化できなかった場合は、公式戦を打ち切り、その時点の成績で優勝を決定する。

選手・練習生登録

選手登録数は25名までとし、公式戦・定期交流戦に出場することができる。練習生登録数は15名までとし、公式戦・定期交流戦には出場できない。所属球団は、選手と練習生の合計で40名まで登録できる。

指名打者

当リーグは指名打者(DH)制を採用する。

予告先発

当リーグは予告先発制を採用する。ただし、福岡ソフトバンクホークス、読売巨人軍との定期交流戦については採用しない。

規定打席・規定投球回数・個人成績

- (1) 規定打席は、所属球団の試合数×2.7打席とする。
- (2) 規定投球回数は、所属球団の試合数×0.8回とする。
- (3) 定期交流戦におけるIL選手の個人成績を公式戦の個人成績に含める。

優勝(順位)決定方法

- (1) 各期の優勝は、公式戦と定期交流戦の前期36試合、後期30試合の勝率により決定する。引き分けの試合については、再試合を行わず、勝率の計算から除く。 $\text{勝率} = \frac{\text{勝試合数}}{\text{勝試合数} + \text{負試合数}}$
- (2) 各期公式戦終了時点で勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝球団とする。その他の順位を決定する場合も同様とする。
①同率球団間の当期の対戦成績 ②当期の得失点差 ③当期の総得点数

年間総合優勝球団決定方法：リーグチャンピオンシップ(CS)

- (1) 前・後期それぞれの優勝球団間で、原則として全5戦を行い、3戦先勝したチームが優勝となる。
- (2) 同一球団が前・後期優勝した場合、当該球団に1勝のアドバンテージが与えられ、年間勝率2位の球団と全4戦を行う。
- (3) 9回を終了して同点の場合は延長戦を行う。延長戦は原則として決着がつくまで行うが、球場の使用時間制限等、各球場のルールに従い、引き分けになる場合がある。
- (4) 引き分け等により、全5戦を終了した時点でいずれかの球団の勝数が3勝に満たない場合でも、全5戦の対戦成績で勝敗を決定する(対戦成績が五分の場合を除く)。
- (5) 全5戦を終了して、2勝2敗1分、1勝1敗3分等、対戦成績が五分の場合は、予備日にて追加で1試合を行い、その試合に勝利したチームを優勝とする。
- (6) 雨天等により、予備日を含めて全ての日程を消化できなかった場合は、その時点での対戦成績で勝敗を決定する。
- (7) 予備日を含め、対戦成績が五分の場合には、下記の順に優位な球団を年間総合優勝球団とする。
①CSの失点率(総失点÷総イニング数) ②公式戦の年間通算勝率 ③公式戦の当該カードの年間対戦成績